

長良川鉄道「郡上八幡駅」がリニューアルオープン

昨年10月から実施されていた郡上八幡駅の工事が完了し、竣工式が行われました。



▶リニューアルされた郡上八幡駅舎

施設の概要

郡上八幡駅は、国鉄越美南線深戸から郡上八幡間の開通により、昭和4年12月8日に八幡町の玄関口の駅舎として建設されました。

駅舎は木造平屋建てで、昭和7年に弥富駅までの開業により下り線に待合室を新設、同19年には跨線橋を新設、その後、ホームの上屋の延長などが行われました。

◀開業当時の郡上八幡駅舎



今回の工事で駅舎棟内には、観光案内所、喫茶コーナー、売店が設置された他、トイレも改築されました。また、バス乗降場が新たに設置され、駐車場の駐車台数も48台に増加し、イベントのできる南側広場も整備されました。

鉄道のご利用以外にも、みなさんに親しまれる施設となることを目指しています。

開業以来約90年を迎え、これまでの間に、屋根や窓等の改修が行われていたものの、当時の面影を残しており、郡上八幡のシンボルの一つとなっていました。

こうした中、本屋及び上りプラットホーム、同物置及び梃子上屋、同下りプラットホーム及び待合所、同跨線橋は、郡上八幡の近代化を支え、昭和初期の鉄道施設の様相を今に伝えるものとして、平成27年8月4日に国の登録有形文化財建造物に登録されました。

改修の概要

今回の工事では、建築当時の外観を復元することを基本として本屋改修を行ったほか、多目的トイレ、バス乗降場、駅南側広場などを新たに利用者の利便性向上のため付加しました。

こうした改修等により、長良川鉄道郡上八幡駅を「観光鉄道機能強化の拠点駅」として位置づけ、郡上市における公共交通拠点及び観光案内拠点として活用を図り、新たな観光需要を拡大していきます。

竣工式が挙行されました

4月28日（金）に郡上八幡駅の改修工事を完了に伴う記念式典が開催され、神事、式典、テープカットが行われました。

また、観光列車「ながら」の到着に合わせて、郡上陣屋組による太鼓の演奏、郡上踊り保存会による踊りの披露で完成を祝い、新たに駅舎棟内に設置された駅力フェでは、コーヒーなどの飲み物がふるまわれました。



▶竣工式のテープカットの様子
みなさんで駅の新たなスタートを祝いました。

郡上八幡城が「続 日本百名城」に選定されました！

公益財団法人日本城郭協会が4月6日（城の日）に発表した「続 日本100名城」に、郡上八幡城（積翠城）が選定されました。

日本城郭協会では、2006年に「日本100名城」を選定しており、県内では岩村城（恵那市）と岐阜城（岐阜市）が選定されていましたが、第2弾の「続日本100名城」において郡上八幡城が選ばれました。県内では郡上八幡城のほか、苗木城（中津川市）、美濃金山城（可児市）、大垣城（大垣市）が選定されています。



問 商工観光部観光課 ☎ 67-1808